

# 宮崎県観光振興計画（案）の概要

観光推進課

## 計画概要

### 位置付け

- 県総合計画長期ビジョンを具現化するための観光に関する分野別計画
- 神話のふるさと宮崎観光おもてなし推進条例に基づく計画であり、本県の観光の振興のため、関係団体が一体となって取り組む指針となるもの

### 推進期間

令和5年度（2023年度）～令和8年度（2026年度）

## 観光の現状と課題

### 観光を取り巻く環境の変化

- 人口減少・少子高齢化の進行
- 新型コロナウイルス感染症による旅行需要の減少
- 旅行形態・観光ニーズの多様化 ○ デジタル化の進展
- 持続可能性（SDGs）に対する意識の高まり

### 本県観光の現状

- **観光入込客、観光消費額とも新型コロナウイルス感染症の影響で大きく減少**
- 宿泊客が3割未満で日帰り客が7割以上であり、**通過型観光が多くなっている**
- 県外客のうち8割が九州内からであり、**九州外からの観光客が少ない**
- 外国人の延べ宿泊者数は九州内で2番目に少なく、**インバウンド需要を十分に取込めていない**
- **スポーツキャンプ・合宿も新型コロナウイルス感染症の影響を受けて大きく減少**

### 本県観光の課題

- 周遊・滞在型観光の推進 ○ 九州外からの観光誘客、リピート率の向上
- 外国人観光客の誘致推進 ○ 多様化する観光ニーズへの対応
- デジタル技術の活用 ○ 安心して旅行を楽しむことができる受入環境整備
- スポーツランドみやぎきの取組強化

## 本県観光の目指す姿と数値目標

### <本県観光の目指す姿>

地域住民や観光関連事業者等による持続可能な観光地域づくりが推進され、地域社会が活性化するみやぎき

観光資源の掘り起こし・磨き上げと効果的な情報発信により本県の魅力が向上し、認知され、国内外から多くの観光客が訪れるみやぎき

「スポーツランドみやぎき」でスポーツの魅力を感じ、感動してもらうことで、心も体も再生し、訪れる人々に、明日への希望と活力を与えるみやぎき

**魅力実感！感動と元気あふれる「観光みやぎき」**  
～CHALLENGEみやぎき、新しい景色へ～

## 本県観光の目指す姿と数値目標

資料1

### <数値目標>

指標	現況値（R3）	目標（R8）
観光入込客数	1,013万人回	1,650万人回
延べ宿泊者数	315万人泊	460万人泊
うち外国人宿泊者数	1万人泊	36万人泊
観光消費額	1,051億円	1,950億円
県外からのスポーツキャンプ・合宿延べ参加者数	12.9万人	25万人
国外からのクルーズ船寄港回数	0回	50回
M I C E 延べ参加者数	1.2万人	24万人

## 基本方針

- **みやぎきの魅力を最大限に生かした観光の推進**
- **観光サービスの高付加価値化と持続可能な観光への取組**
- **戦略的なプロモーション**
- **デジタル技術の活用**

## 取り組むプロジェクト

### 1 国内外から選ばれる観光地域づくり

- (1) **周遊・滞在型観光推進**のための観光資源の磨き上げ
- (2) **新しい観光スタイルに対応した取組**の推進
- (3) 地域の観光を牽引する**人材の育成**
- (4) DMO等による魅力ある観光地域づくりの推進
- (5) 利便性と満足度向上のための**基盤整備**

### 2 みやぎきの強みを生かした誘客の推進

- (1) **本県ならではのテーマ観光**の推進
- (2) **世界ブランド**等を生かした観光の推進
- (3) みやぎきM I C Eの推進
- (4) **教育旅行**の誘致・定着推進
- (5) **観光関連事業者等との連携**による取組の推進
- (6) **広域連携**による取組の推進

### 3 外国人観光客の誘致の強化・推進

- (1) ニーズに対応した**魅力の創出**と情報発信
- (2) **東アジアを重点地域**とした誘客・リピーターの拡大
- (3) **欧米豪や富裕層**など新規市場の開拓
- (4) **クルーズ船**の誘致・推進

### 4 「スポーツランドみやぎき」の推進

- (1) 国際水準のスポーツの聖地としての**ブランド力向上**
- (2) スポーツキャンプ・合宿及びスポーツイベントの**全県化・通年化・多様化**の推進
- (3) **スポーツツーリズム**の推進

※ 着色部分は計画の内容の変更をした項目

番号	御意見の要旨	計画(案)における該当箇所	計画への反映・県の考え方
1	<p>・サブタイトルの「コロナ」を排除し、明るい宮崎を象徴するような未来に向けた言葉に変えてみてはどうか。</p> <p>・サブタイトルについては、残す方向で、目標までの強い意志表示のあるパワーワードを設定してはどうか。</p> <p>・スローガンについては、変化をしつづける世の中にフィットして、既存のものも新しいものも取り入れつつ、みやざきらしさを作ることが令和的ではないか</p>	<p>【第3章 本県観光の目指す姿 (P.21)】</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>魅力実感！感動あふれる「観光みやざき」 ～コロナ禍からの再生と更なる発展～</p> </div>	<p>御意見を踏まえ、次のとおり変更します。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>魅力実感！感動と元気あふれる「観光みやざき」 ～CHALLENGEみやざき、新しい景色へ～</p> </div>
2	<p>宿泊業の観点からは、人手不足の現状を踏まえ、団体客の受入・チェックインの効率化など、現状に合わせて運営をしていくことが重要である。</p>	<p>【第4章-第1節-基本方針-○観光サービスの高付加価値化と持続可能な観光への取組 (p.27)】</p> <p>【第4章 第2節 1 (5) 利便性と満足度向上のための基盤整備 (p.31)】</p> <p>「クレジットカード、電子マネー等の使用店舗の拡大など、キャッシュレス決済や観光地のWi-Fi環境の充実」</p>	<p>御意見を踏まえ、次のとおり変更します。</p> <p>「キャッシュレス決済、自動チェックインシステム等の使用店舗の拡大や観光地のWi-Fi環境の充実に対する取組の促進」</p>
3	<p>【観光事業者の役割】について、ニーズ把握だけではなく、その先のウォンツを想像することで価値を高めていく必要があるのではないか。</p>	<p>【第5章 1 【観光事業者の役割】 (p.42)】</p> <p>「観光客のニーズを常に把握し、また来たくなるようなサービスの質の向上等につなげていきましょう。」</p>	<p>御意見を踏まえ、次のとおり変更します。</p> <p>「観光客のニーズを把握するとともに、顕在化していない観光客が求める価値を創造することでまた来たくなるようなサービスの質の向上等に取り組んでいきます。」</p>
4	<p>首都圏など遠方の観光客を視野に入れた観光対策を行う必要がある。</p>	<p>【第4章-第1節-基本方針-○戦略的なプロモーション (p.28)】</p>	<p>本県を訪れる県外客のうち8割は九州内であり、首都圏など市場規模の大きい九州外からの誘客は重要であると考えております。左記の部分において、観光マーケティングに基づき効果的なプロモーションに取り組んでまいります。</p>
5	<p>旅の目的地となるような「見せ方」が重要である。</p>	<p>【第4章-第1節-基本方針-○戦略的なプロモーション (p.28)】</p>	<p>左記の部分において、観光マーケティングに基づき、それぞれのターゲット層に対する効果的なプロモーションを実施してまいります。</p>
6	<p>県が提供するフリー素材画像が10年～20年変わらない気がする。素材そのものを変える必要は無いが、見せ方を変える必要があると考える。</p>	<p>【第4章-第1節-基本方針-○戦略的なプロモーション (p.28)】</p>	<p>県素材のフリー素材画像は観光情報サイト旬ナビに掲載しておりますが、今年度は旬ナビのリニューアルを行うこととしていることから、フリー素材画像についても御指摘の点を踏まえ見直しを図ってまいります。</p>
7	<p>宮崎にしかないものや体験などの魅力(食、スポーツ)を発信していく必要がある。</p>	<p>【第4章-第1節-基本方針-○みやざきの魅力を最大限に生かした観光の推進 (p.24)】</p> <p>【第4章-第1節-基本方針-○戦略的なプロモーション (p.28)】</p>	<p>左記の部分において、宮崎の持つ様々な魅力を最大限に活用し、その魅力が観光客に伝わるよう戦略的なプロモーションを推進してまいります。</p>

番号	御意見の要旨	計画（案）における該当箇所	計画への反映・県の考え方
8	宮崎が旅の目的になるようなメニュー、ツアーづくりが必要である。	【第4章-第1節-基本方針-〇みやぎの魅力を最大限に生かした観光の推進（p.24）】 【第4章-第2節-1-(1)②周遊・滞在型観光につながる旅行商品の開発（p.29）】	左記の部分において、豊かな自然や食、日向神話、充実したスポーツ環境などを生かし、旅の目的となるメニュー・ツアーづくりに取り組んでまいります。
9	観光誘客のためには、ストーリーを作ることが大事であり、そのためには観光資源が欠かせない。観光資源は3つ（元々あるもの、ブームに乗ってつくるもの、元々あるが観光資源化されていないもの）あると思うので、それらを活用した取組が必要である。	【第4章-第2節-1-(1)①魅力ある観光資源の掘り起こし・磨き上げ（p.29）】	左記の部分において、3つの視点を踏まえた観光資源の掘り起こし、磨き上げを実施し、観光情報の発信・観光商品造成に努めてまいります。
10	個人の観光客が増えており、その中でZ世代から60～70歳の年代でSNSを活用する人が増えている。そのような視点を踏まえた人材づくりをする必要がある。	【第4章-第2節-1-(3)地域の観光を牽引する人材の育成（p.30）】	左記の部分において、地域の観光を牽引する人事の育成に取り組むこととしており、観光関連事業者等がSNSを自ら発信していけるよう県が知識や能力向上への機会を提供してまいります。
11	サービス（おもてなし）がリピート率向上のためには、非常に重要になってくる。	【第4章-第2節-1-(3)地域の観光を牽引する人材の育成（p.30）】	左記の部分において、サービス（おもてなし）向上のためにも、県民が観光を知り、観光地域づくりに参画する取組を推進してまいります。
12	人手不足で宿泊施設の部屋を全て活用できていない状況があるので、受入側の長期的な宿泊能力の拡充が課題である。	【第4章-第2節-1-(5)①観光施設等の受入基盤整備（p.31）】	左記の部分において、様々なニーズに対応した受入基盤整備の対応やクレジットカード、電子マネー等の使用店舗の拡大など事務効率向上を図ることにより、宿泊能力の受入体制強化を図ります。
13	お店の人や観光に従事している人が現場でつながり、効果的に伝えていくことが重要である。そのような体制を観光事業者、お店と共有し作る必要がある。	【第4章-第2節-2-(5)観光関連事業者等との連携による取組の推進（p.35）】	観光関連事業者等と連携した誘客プロモーションの強化や取り組んでまいります。
14	教育旅行に来る世代（小・中・高生）の発信力を活用していく視点も大事ではないか。	【第4章-第2節-2-(4)教育旅行の誘致・定着推進（p.35）】	左記の部分において、ニーズを踏まえた教育旅行関係者の招聘や教育プログラム開発の推進により、国内外から観光客を誘客し魅力を伝えてまいります。 また、県内学生が本県の観光や取組等を理解し、SNS等で魅力を発信するなど観光地づくりに参画する取組を推進してまいります。
15	教育旅行についても数値目標を設定する必要があるのではないか。	【第4章-第2節-2-(4)教育旅行の誘致・定着推進（p.35）】	令和2年、令和3年の教育旅行の受入実績は大きく増加していますが、これはバス借上げや宿泊助成及びコロナにより県外へ行けなかった学校が県内旅行へシフトしたことによる影響によるものであります。 数値目標は設定しませんが、教育旅行の誘致・定着促進に組んでまいります。
16	国スポ・障スポのスポーツ設備について、他県と違うのは分散型ということである。地域活性化につながる狙いがあるので、スポーツによる誘客を増やしていくべきである。	【第4章-第2節-4(1)国際水準のスポーツの聖地としてのブランド力向上（p.40）】 【第4章-第2節-4(2)スポーツキャンプ・合宿及びスポーツイベントの全県化・通年化・多種目化の推進（p.40）】 【第4章-第2節-4(3)スポーツツーリズムの推進（p.41）】	国スポ・障スポ施設を活用し、スポーツの聖地としてのブランド力向上に取り組むとともに、スポーツキャンプ・合宿等の全県化・通年化・多種目化やスポーツツーリズムを推進し、地域活性化につながる取組を進めてまいります。

※パブリックコメント:11件

※ 着色部分は計画の内容を変更をした項目

番号	御意見の要旨	計画(案)における該当箇所	計画への反映・県の考え方
1	<p>宮崎県が目指す姿(持続可能な観光地域づくり)の為には、観光消費額の拡大と域内調達率の向上により「地域が稼ぐ(利益拡大)」ことが欠かせないと思うが、なぜ、経済波及効果の大きい宿泊者数の目標値の伸び率が他の指標と比較して相対的に低いのか。</p> <p>外国人宿泊者数の目標値を目指すことで観光消費額が拡大するというロジックか。または、コロナ前(2019年)と比較すると延べ宿泊者数の伸び率が大きいので、それをベースに目標値を設定したのか。</p> <p>そうであれば、その旨記載した方が分かりやすいかと思われる。</p>	<p>【第3章-2 数値目標(p.22)】</p>	<p>数値目標につきましては、コロナ禍前の令和元年の数値も踏まえて設定しております。</p> <p>いただいた御意見を踏まえ、目標値との比較ができるよう令和元年の数値を参考値として記載します。</p>
2	<p>それぞれの役割の欄で「○○しましょう」などの表現に違和感を感じる。本気で取り組む各セクションの役割なので、「○○すること」のように強く表現してはどうか。</p>	<p>【第5章-1 計画の推進に当たっての各主体の役割(p.42)】</p> <p>【市町村の役割】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各市町村独自の観光資源の創出や磨き上げ、活用など、地域特性を十分に生かした観光地域づくりを積極的に推進しましょう。</li> <li>○ 他の自治体等との連携を図りながら施策を推進しましょう。</li> </ul> <p>【観光関係団体の役割】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 観光地を運営していく観点から、県や市町村、地域の観光事業者、他の観光関係団体等とも連携を図りながら観光地域づくりに取り組んでいきましょう。</li> <li>○ 各地域にある観光資源の磨き上げ、活用など、地域特性を十分に生かした観光地域づくりを積極的に推進しましょう。</li> </ul> <p>【観光事業者の役割】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 観光客のニーズを把握するとともに、顕在化していない観光客が求める価値を創造することでまた来となるようなサービスの質の向上等に取り組んでいきましょう。</li> <li>○ 農林水産物をはじめ、県産素材を積極的に活用するなど、域内調達率を上げましょう。</li> <li>○ 観光客の滞在時間を延ばし、観光消費額を増やすため、体験メニュー等を提供する地域づくり団体等と積極的に連携するなど、魅力の向上に努めましょう。</li> </ul> <p>【県民の役割】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 県民一人ひとりが宮崎に愛着と誇りを持ち、「ひなた」の心で観光客をおもてなししましょう。</li> <li>○ 地域の魅力を知り、県民一人ひとりが宮崎県の営業の顔として、本県の観光地や美味しい食などをPRしましょう。</li> <li>○ 県内各地の観光地や祭り・イベント等を積極的に訪れましょう。</li> </ul>	<p>いただいた御意見を踏まえ、次のとおり変更します。</p> <p>【市町村の役割】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各市町村独自の観光資源の創出や磨き上げ、活用など、地域特性を十分に生かした観光地域づくりを積極的に推進します。</li> <li>○ 他の自治体等との連携を図りながら施策を推進します。</li> </ul> <p>【観光関係団体の役割】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 観光地を運営していく観点から、県や市町村、地域の観光事業者、他の観光関係団体等とも連携を図りながら観光地域づくりに取り組みます。</li> <li>○ 各地域にある観光資源の磨き上げ、活用など、地域特性を十分に生かした観光地域づくりを積極的に推進します。</li> </ul> <p>【観光事業者の役割】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 観光客のニーズを把握するとともに、顕在化していない観光客が求める価値を創造することでまた来となるようなサービスの質の向上等に取り組めます。</li> <li>○ 農林水産物をはじめ、県産素材を積極的に活用するなど、域内調達率を高めていきます。</li> <li>○ 観光客の滞在時間を延ばし、観光消費額を増やすため、体験メニュー等を提供する地域づくり団体等と積極的に連携するなど、魅力の向上に努めます。</li> </ul> <p>【県民の役割】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 県民一人ひとりが宮崎に愛着と誇りを持ち、「ひなた」の心で観光客をおもてなしします。</li> <li>○ 地域の魅力を知り、県民一人ひとりが宮崎県の営業の顔として、本県の観光地や美味しい食などをPRします。</li> <li>○ 県内各地の観光地や祭り・イベント等を積極的に訪れます。</li> </ul>

番号	御意見の要旨	計画(案)における該当箇所	計画への反映・県の考え方
3	総体的に理想論、抽象論が多いように思われる。もっと具体的に夢のあるプランに切り込んでほしい。 インバウンド推進で神話を観光資源とするのであれば、語り部の育成や神楽殿の設置・上演、宿泊施設との巡回バスの設置など神話をわかりやすく説明できるエリアをつくる。そんな夢のあるプランにしてほしいと思います。	【第3章-1 本県観光の目指す姿 (p.21)】	本県観光の目指す3つの姿に向けて、「魅力実感!感動と元気あふれる『観光みやぎき』~CHALLENGEみやぎき、新しい景色へ~」をスローガンに取り組むこととしております。 新しい時代に対応した観光振興を行うため、いただいた御意見を参考に具体的な取組を進めてまいります。
4	「国際水準のスポーツの聖地」ではなく、更に大きな概念の「ココロもカラダも健康になるウェルネスの聖地」を目指すべきではないか。 心や体を癒やす場所や、食材が豊富である等、スポーツ以外のマーケットにも宮崎県の素晴らしい環境を実感してもらえるようなアプローチが重要である。	【第4章-第1節-基本方針-○みやぎきの魅力を最大限に生かした観光の推進 (p.24)】	本県には雄大な自然や豊かな食、アウトドアレジャーに適した環境など、国内外に誇る観光資源が大きな強みとなっており、これらの強みを観光メニューとして磨き上げるとともに、本県観光の魅力としてブランディングしていくことが重要であると考えております。 いただいた御意見を参考に取組を進めてまいります。
5	「神話の源流みやぎき」を「日本のふるさと・神話のみやぎき」に変更できないか。 黒木知事時代宮崎国体を「日本のふるさとみやぎき国体」として好評であったと記憶しており、特にこれからインバウンドに取り組むに当たっては世界から見た「みやぎきのブランディング」が重要である。	【第4章-第1節-基本方針-○みやぎきの魅力を最大限に生かした観光の推進-【神話】 (p.25)】  「これらの文化資源を『神話の源流みやぎき』として情報発信するとともに、県内外での講演会や講座、神楽公演等を通じて、神話の魅力を伝える取組をしています。」	本計画の根拠条例の「神話のふるさと宮崎おもてなし推進条例」の趣旨に基づき関係課と表現を検討したところです。 県文化振興計画や県HP等での情報を勘案し、次のとおり変更します。  「これらの文化資源を『神話のふるさとみやぎき』として情報発信するとともに、県内外での講演会や講座、神楽公演等を通じて、神話の魅力を伝える取組をしています。」
6	滞在型観光地を目指すのであれば、九州外(関東圏、関西圏)からの誘客拡大に向けた宮崎空港や隣県の空港と連動したプロモーションとコンテンツ(テーマ・モデルコース)づくりが重要である。	【第4章-第2節-1-(1)②周遊・滞在型観光につながる旅行商品の開発 (p.29)】 【第4章-第2節-2-(6)広域連携による取組の推進 (p.36)】	左記の部分において、隣県や観光関係団体等と連携した周遊ルートづくりや共同でのプロモーションを推進することとしており、いただいた御意見を参考に事業を展開してまいります。
7	滞在型観光地を目指すのであれば、宿泊者数を増加させるために、県内の魅力的な宿泊施設(ハード面、ソフト面、ロケーション等)を紹介することが重要である。	【第4章-第1節-基本方針-○戦略的なプロモーション (p.28)】	左記の部分において、観光マーケティングに基づき、それぞれのターゲットに応じた情報発信を行うこととしており、宿泊に関する情報発信についても、本県魅力を効果的に伝えることができるよう取り組んでまいります。
8	県独自の「語り部養成講座」などを開設して、地域ならではの歴史や文化など「知る人ぞ知る的な話題」を方言で晰を組み立て語れる人を養成し、観光客向けに語る場を設けるなど取組を行ってはどうか。	【第4章-第2節-1-(1)①魅力ある観光資源の掘り起こし・磨き上げ (p.29)】 【第4章-第2節-1-(3)地域の観光を牽引する人材の育成 (p.30)】	具体的な取組については、いただいた御意見を参考に、今後事業を展開する上で検討してまいります。
9	「観光」は裾野の広い産業であるため、「観光産業」以外の人材育成が非常に重要である、継続的な取組をお願いしたい。	【第4章-第2節-1-(3)地域の観光を牽引する人材の育成 (p.30)】	観光は裾野が広い産業であり、それぞれの地域での活動を牽引し、支える人材の育成は大変重要であると考えております。 左記の部分において、観光を担う人材の育成に取り組むとともに、学生や地域住民に対する観光教育の機会を提供することとしており、引き続き取組を進めてまいります。
10	地域DMOについて椎葉・高千穂に合わせて五ヶ瀬も組み入れて一体的に取り組めるよう協議をお願いしたい。	【第4節-第2節-1-(4)DMO等による魅力ある観光地域づくりの推進 (p.31)】	国内外から選ばれる観光地域づくりを進めていく上では、市町村域を越えた観光メニューの開発、磨き上げが重要であると考えております。 各市町村やDMO、観光事業者と連携して取組を進めてまいります。
11	過疎地域の観光資源を生かすには交通の便が重要である。「コミュニティバスを活用した行政地域間の相互乗り入れを推進する」などの具体的方針を掲げて周遊ルートを設定してはどうか。	【第4章-第2節-1-(5)④移動環境の利便性向上 (p.32)】	観光地までの交通手段の整備・充実は重要な課題と認識しております。 左記の部分において、移動環境の利便性向上に取り組むこととしており、いただいた御意見を参考に引き続き取組を進めてまいります。

○令和5年度主要施策（宮崎県観光振興計画（案）関連）

資料4

プロジェクト1:国内外から選ばれる観光地域づくり		担当課	事業概要	予算額(千円)	
<b>(1) 周遊・滞在型観光の推進のための観光資源の磨き上げ</b>					
<b>① 魅力ある観光資源の掘り起こし・磨き上げ</b>					
改	ポストコロナに向けた稼ぐ観光地域づくり推進事業		観光推進課	地域を牽引する観光人材の育成、観光資源の掘り起こしや磨き上げ、観光地の受入環境整備に対する補助を行う。	44,849
継	青島・都井岬観光資源保全事業		観光推進課	日南海岸青島の景観美化や都井岬馬の保全等に取り組む。	1,750
継	文化で紡ぐ地域活力の再興応援事業		みやざき文化振興課	地域文化の活動再開に向けた支援を行う。	20,000
改	みやざきの文化資源活用推進事業		みやざき文化振興課	首都圏での神楽公演や宮崎の文化に関する講座の開催、多様な主体が神楽を支える仕組みづくり等を行う。	8,809
新	神楽でつなぐ次世代育成事業		文化財課	民俗芸能公演や子ども神楽大会、県内保存会員の情報交換等を行い、次世代の神楽保存会員等、担い手の育成等を図る。	7,574
改	次世代へつなぐ祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク普及啓発事業		中山間・地域政策課	祖母・傾・大崩ユネスコエコパークの魅力の発信、次世代の人材を育成するための環境学習の受入体制の構築を行う。	8,748
改	未来に繋ぐ世界農業遺産地域活性化事業		中山間農業振興室	世界農業遺産の魅力を活かした誘客促進や関係人口の創出・拡大等が持続的に行われる仕組みの構築を支援する。	20,557
継	みやざきの持続可能な農山村づくり支援事業		中山間農業振興室	農泊地域のプロモーションや他業種と連携した農泊推進の支援、農泊事業者向け研修会等を実施する。	36,199
改	みやざきの食の魅力発信・販路開拓事業		産業政策課	フードビジネスに取り組む県内事業者支援のため、県産品のweb物産展や首都圏での県産品販売イベント等を実施する。	35,483
継	みやざきの自然公園満喫プロジェクト推進事業		自然環境課	自然公園の環境に配慮しながら誘客を促進する民間事業者の取組の支援等を行う。	3,341
<b>② 周遊・滞在型観光につながる旅行商品の開発</b>					
改	ポストコロナに向けた稼ぐ観光地域づくり推進事業	再	観光推進課	地域を牽引する観光人材の育成、観光資源の掘り起こしや磨き上げ、観光地の受入環境整備等の取組に対し補助する。	44,849
新	観光みやざき需要回復・再生プロジェクト事業		観光推進課	置県140年を契機に本県魅力を発信するとともに、観光需要の回復を図るため県内周遊促進事業等に取り組む。	584,245
<b>(2) 新しい観光スタイルに対応した取組の推進</b>					
改	ポストコロナに向けた稼ぐ観光地域づくり推進事業	再	観光推進課	地域を牽引する観光人材の育成、観光資源の掘り起こしや磨き上げ、観光地の受入環境整備等の取組に対し補助する。	44,849
継	ワーケーションを通じた関係人口創出・拡大事業		中山間・地域政策課	ワーケーションの受入に向けたプロモーション活動等の取組の促進、都市部の企業等との継続的なつながりの構築を図る。	5,694
<b>(3) 地域の観光を牽引する人材の育成</b>					
改	ポストコロナに向けた稼ぐ観光地域づくり推進事業	再	観光推進課	地域を牽引する観光人材の育成、観光資源の掘り起こしや磨き上げ、観光地の受入環境整備等の取組に対し補助する。	44,849
<b>(4) DMO等による魅力ある観光地域づくりの推進</b>					
改	ポストコロナに向けた稼ぐ観光地域づくり推進事業	再	観光推進課	地域を牽引する観光人材の育成、観光資源の掘り起こしや磨き上げ、観光地の受入環境整備等の取組に対し補助する。	44,849
<b>(5) 利便性と満足度向上のための基盤整備</b>					
<b>① 観光施設等の受入基盤整備</b>					
改	ポストコロナに向けた稼ぐ観光地域づくり推進事業	再	観光推進課	地域を牽引する観光人材の育成、観光資源の掘り起こしや磨き上げ、観光地の受入環境整備等の取組に対し補助する。	44,849
継	県営国民宿舎運営事業		観光推進課	国民宿舎等について、新たな観光需要への対応や広域的な観光周遊の拠点として活用するための運営を行う。	39,285
継	「美しいみやざきの道」県民ボランティア支援事業		道路保全課	官民協働による道路愛護活動を推進し、「美しいみやざきづくり」の気運の醸成及び道路愛護意識の普及啓発を行う。	8,707
継	沿道修景美化推進対策事業		道路保全課	主要な国県道の沿道において植栽等を行い、宮崎らしい「うるおい」と「やすらぎ」のある沿道環境の保全に努める。	944,014
改	持続可能な「美しい宮崎づくり」推進事業		美しい宮崎づくり推進室	景観形成活動に取り組む団体に対する補助、景観50選を巡るツアーの造成、景観学習に取り組む学校への補助等を行う。	28,596
継	九州自然歩道整備事業費		自然環境課	九州自然歩道の維持管理や看板・規制ロープの設置、マップ作成など安全・安心に利用するための環境整備を行う。	13,034
継	自然公園等整備事業		自然環境課	国立公園・国定公園内の利用施設の整備など、訪日外国人を引きつける取組を計画的・集中的に実施する。	184,989
<b>② ユニバーサルツーリズムの推進</b>					
改	ユニバーサルツーリズム受入環境整備事業		観光推進課	ユニバーサルツーリズムに関する情報提供や相談体制の強化、宿泊施設等のユニバーサルデザイン化に対する補助を行う。	20,000
継	人にやさしい福祉のまちづくり事業		障がい福祉課	バリアフリー等のアクセシビリティ情報を発信するとともに、障がい者等用駐車場利用証制度の普及等を行う。	3,619

○令和5年度主要施策（宮崎県観光振興計画（案）関連）

資料4

<b>③ 外国人観光客の受入環境の整備・充実</b>					
改	ポストコロナ時代に向けたインバウンド推進事業		観光推進課	東アジアを中心とした海外旅行会社へのセールス活動や多言語コールセンターによる通訳サービス等を実施する。	20,820
改	みやざきインバウンド誘客回復・強化事業		観光推進課	重点市場を中心とした誘客を行うとともに官民一体となった新たなテーマ型観光での誘客に取り組む。	96,350
改	海外市場デジタル活用誘客促進事業		観光推進課	中国・ASEAN等の今後誘客が期待できる国に対し、SNSを含むインターネットを活用した戦略的な誘客対策を行う。	23,000
継	MIYAZAKI FREE Wi-Fi等維持管理事業		観光推進課	外国人観光客の利便性向上に資するため、フリーWi-Fi環境を整備する。	2,601
継	自然公園等整備事業	再	自然環境課	国立公園・国定公園内の利用施設の整備など、訪日外国人を引きつける取組を計画的・集中的に実施する。	184,989
<b>④ 移動環境の利便性向上</b>					
継	観光案内板等整備事業		観光推進課	県内各所に設置している観光案内板の計画的な情報更新を行う。	2,480
継	地方バス路線等運行維持対策事業		総合交通課	バス事業者や市町村に対して、広域的なバス路線の運行維持等に要する経費を補助する。	738,475
継	みやざきの地域鉄道利用促進強化事業		総合交通課	JR吉都線・日南線の利用促進協議会が実施する利用促進の取組や「海幸山幸」の平日臨時運行に要する経費を補助する。	11,454
新	官民連携鉄道利用支援事業		総合交通課	JR吉都線・日南線の利用促進協議会が実施する通勤定期購入支援など新たな需要の掘り起こし等に要する経費を補助する。	2,962
新	地域交通DX推進事業		総合交通課	交通事業者等に対して、キャッシュレス決済の導入検討など地域交通のデジタル化に向けた取組に要する経費を補助する。	25,659
継	直轄道路事業負担金		道路建設課	国が実施する国道10号、220号のバイパス建設や改築等に要する事業費の一部を負担し、直轄事業による整備促進を図る。	1,990,766
継	公共道路新設改良事業		道路建設課	整備の遅れている国道及び地方道の改築事業を推進し、強靱で信頼性の高い道路ネットワークの構築を図る。	12,090,669
継	直轄道路事業負担金		高速道対策局	国が実施する東九州自動車道や九州中央自動車道の建設に要する事業費の一部を負担し、直轄事業による整備促進を図る。	3,165,146
継	高速道路利活用促進・整備促進PR事業		高速道対策局	高速道路の開通区間の情報や開通によるストック効果等を広く県民にPRすることにより、より一層の利活用促進を図る。	3,364
<b>⑤ 安全・安心に向けた観光地域づくり</b>					
改	ポストコロナ時代に向けたインバウンド推進事業		観光推進課	東アジアを中心とした海外旅行会社へのセールス活動や多言語コールセンターによる通訳サービス等を実施する。	20,820
<b>プロジェクト2 みやざきの強みを生かした誘客の推進</b>					
			担当課	事業概要	予算額(千円)
<b>(1) 本県ならではのテーマ観光の推進</b>					
新	観光みやざき需要回復・再生プロジェクト事業	再	観光推進課	置県140年を契機に本県の魅力を発信するとともに、観光需要の回復を図るため県内周遊促進事業等に取り組む。	584,245
継	サーフランドみやざき推進事業		観光推進課	ワールドサーフィンゲームスの本県開催のレガシーとして整備した木崎浜サーフィンセンターの維持管理を図る。	3,000
<b>(2) 世界ブランド等を生かした観光の推進</b>					
改	次世代へつなぐ祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク普及啓発事業	再	中山間・地域政策課	祖母・傾・大崩ユネスコエコパークの魅力の発信、次世代の人材を育成するための環境学習の受入体制の構築を行う。	8,748
改	未来に繋ぐ世界農業遺産地域活性化事業	再	中山間農業振興室	世界農業遺産の魅力を活かした誘客促進や関係人口の創出・拡大等が持続的に行われる仕組みの構築を支援する。	20,557
新	神楽でつなぐ次世代育成事業	再	文化財課	民俗芸能公演や子ども神楽大会、県内保存会員の情報交換等を行い、次世代の神楽保存会員等、担い手の育成等を行う。	7,574
改	みやざきの文化資源活用推進事業	再	みやざき文化振興課	首都圏での神楽公演や宮崎の文化に関する講座の開催、多様な主体が神楽を支える仕組みづくり等を行う。	8,809
<b>(3) みやざきMICEの推進</b>					
継	MICE推進強化事業		観光推進課	本県MICE環境のPRや関連事業者への研修会、MICE開催の支援等を行う。	37,862
継	みやざきMICE新分野開拓事業		観光推進課	MICEの全県展開につながる企業研修の誘致等に取り組むことにより、本県MICEの回復を図る。	5,000
<b>(4) 教育旅行の誘致・定着促進</b>					
改	教育旅行誘致・定着促進事業		観光推進課	教育旅行の誘致・受入に関する初動窓口を一元化するとともに、学校の貸切バス費用等を助成する。	30,631

○令和5年度主要施策（宮崎県観光振興計画（案）関連）

資料4

<b>(5)観光関連事業者との連携による取組の推進</b>					
新	観光みやざき需要回復・再生プロジェクト事業	再	観光推進課	置県140年を契機に本県の魅力を発信するとともに、観光需要の回復を図るため県内周遊促進事業等に取り組む。	584,245
継	「日本のひなた宮崎県」国内誘致強化事業		観光推進課	旅行会社等と連携しながら顧客分析を行い、国内旅行者のニーズに基づいた本県の観光素材等を発信する。	16,108
継	県民総参加！ひなたプロモーション事業		国際・経済交流課	県民からの声を積極的に取り入れながら、本県の様々な魅力を発信する。	32,213
<b>(6)広域連携による取組の推進</b>					
改	九州広域連携観光誘客事業		観光推進課	九州内をターゲットに本県観光地の情報発信や誘致企画の実施により本県の認知度向上を図る。	4,780
継	みやざきの持続可能な農山村づくり支援事業		中山間農業振興室	農泊地域のプロモーションや他業種と連携した農泊推進の支援、農泊事業者向け研修会等を実施する。	36,199
<b>プロジェクト3 外国人観光客の誘致の強化・推進</b>			<b>担当課</b>	<b>事業概要</b>	<b>予算額(千円)</b>
<b>(1)ニーズに対応した魅力の創出と情報発信</b>					
改	みやざきインバウンド誘客回復・強化事業	再	観光推進課	重点市場を中心とした誘客を行うとともに官民一体となった新たなテーマ型観光での誘客に取り組む。	96,350
改	海外市場デジタル活用誘客促進事業	再	観光推進課	中国・ASEAN等の今後誘客が期待できる国に対し、SNSを含むインターネットを活用した戦略的な誘客対策を行う。	23,000
<b>(2)東アジアを重点地域とした誘客・リピーターの拡大</b>					
継	ポストコロナ時代に向けたインバウンド推進事業	再	観光推進課	東アジアを中心とした海外旅行会社へのセールス活動や多言語コールセンターによる通訳サービス等を実施する。	20,820
改	みやざきインバウンド誘客回復・強化事業	再	観光推進課	重点市場を中心とした誘客を行うとともに官民一体となった新たなテーマ型観光での誘客に取り組む。	96,350
改	海外市場デジタル活用誘客促進事業	再	観光推進課	中国・ASEAN等の今後誘客が期待できる国に対し、SNSを含むインターネットを活用した戦略的な誘客対策を行う。	23,000
改	協定締結都市等との交流促進事業		国際・経済交流課	本県の高中生や民間団体が実施する台湾との往来による交流やオンライン交流に対して、必要な経費を補助する。	5,600
継	「みやざきの空」航空ネットワーク維持・活性化事業		総合交通課	宮崎空港振興協議会に対して、宮崎空港発着の国内線・国際線の維持・充実にに向けた取組への支援等を行う。	76,165
<b>(3)欧米豪や富裕層など新規市場の開拓</b>					
改	みやざきインバウンド誘客回復・強化事業	再	観光推進課	重点市場を中心とした誘客を行うとともに官民一体となった新たなテーマ型観光での誘客に取り組む。	96,350
<b>(4)クルーズ船の誘致・推進</b>					
改	みやざきインバウンド誘客回復・強化事業	再	観光推進課	重点市場を中心とした誘客を行うとともに官民一体となった新たなテーマ型観光での誘客に取り組む。	96,350
継	油津港ファーストポート化事業		観光推進課	国や日南市等と連携し、油津港のファーストポート受入体制を整えることで、外国クルーズ船の誘致を強化する。	8,891
継	ポートセールス推進事業		港湾課	地元自治体や商工団体・企業等で組織するポートセールス協議会を主体として、港湾利用促進のための活動を実施する。	4,249
<b>プロジェクト4 「スポーツランドみやざき」の推進</b>			<b>担当課</b>	<b>事業概要</b>	<b>予算額(千円)</b>
<b>(1)国際水準のスポーツの聖地としてのブランド力の向上</b>					
改	スポーツランドみやざき誘客推進事業		スポーツランド推進室	スポーツキャンプ・合宿等の誘致に関し、セールス活動やインセンティブとなる助成制度等を行う。	85,006
継	プロ野球キャンプ環境充実強化事業		スポーツランド推進室	プロ野球がキャンプを実施する時期において、練習試合環境を提供する。	14,701
継	国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会事業		国スポ・障スポ準備課	「国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会」の開催に向けた準備を行うとともに、県有スポーツ施設の整備を行う。	9,198,702
<b>(2)スポーツキャンプ・合宿及びスポーツイベントの全県化・通年化・多種目化の推進</b>					
改	スポーツキャンプ・合宿全県展開促進事業		スポーツランド推進室	各市町村のスポーツキャンプ受入強化の取組等の支援により、スポーツキャンプ等の全県化、通年化、多種目化を目指す。	78,375
<b>(3)スポーツツーリズムの推進</b>					
新	観光みやざき需要回復・再生プロジェクト事業		スポーツランド推進室	置県140年を契機に本県の魅力を発信するとともに、観光需要の回復を図るため県内周遊促進事業等に取り組む。	584,245

# 改 ポストコロナに向けた稼ぐ観光地域づくり推進事業

観光推進課 44,849千円

【財源：国庫(22,364千円)、一般財源(22,485千円)】

## 事業の目的

ポストコロナ時代に向けた地域の観光資源の掘り起こしや磨き上げ、観光地の受入環境整備に対して支援するとともに、地域を牽引する観光人材を育成し、県と市町村、観光関係団体、観光事業者等が一体となった観光地域づくりに取り組む。

## 事業の概要

### (1) 事業の仕組み

①②③県  県観光協会      ③県  市町村、市町村を構成員に含む観光協議会等

### (2) 事業概要

- ① 外部専門人材配置による観光地域づくり支援  
外部専門人材の県観光協会への配置
- ② 観光みやざき創生塾  
地域の中核となる観光人材を育成
- ③ 稼ぐ観光地域づくり支援
  - ・新しい観光ニーズやテーマ別観光に対応した観光資源の掘り起こし・磨き上げや地域連携による周遊・滞在型観光への取組に対する補助（補助率1/2以内）
  - ・自然景観を生かした観光や体験型観光、ペットと一緒に楽しむ観光に対応した受入環境整備に対する補助（補助率1/2以内）

### (3) 成果指標

みやざき観光情報 旬ナビ「me trip」体験メニュー数  
49件（R4） → 57件（R5）

## 事業の期間

令和5年度

# 新 観光みやざき需要回復・再生プロジェクト事業

観光推進課 584,245千円  
【財源:宮崎再生基金】

## 事業の目的

新型コロナの長期化により低迷する観光需要を回復し、観光再生の加速化を図るとともに、宮崎県置県140年を契機として本県の魅力を県内外に発信するため、県内周遊促進事業やプロモーション等に取り組む。

## 事業の概要

### 事業内容

#### 1 周遊促進事業

- 「5つのS旅」による周遊促進
- 神話：対象神社での記念御朱印の授与等
- 自然・森林：宮崎の自然や景観等から得られる癒やし旅ツアーや宿泊プランの造成等
- 食：観光関連産業と連携したグルメ周遊企画
- スポーツ：ゴルフツーリズムのツアー造成等、サイクルツーリズムのツアー造成

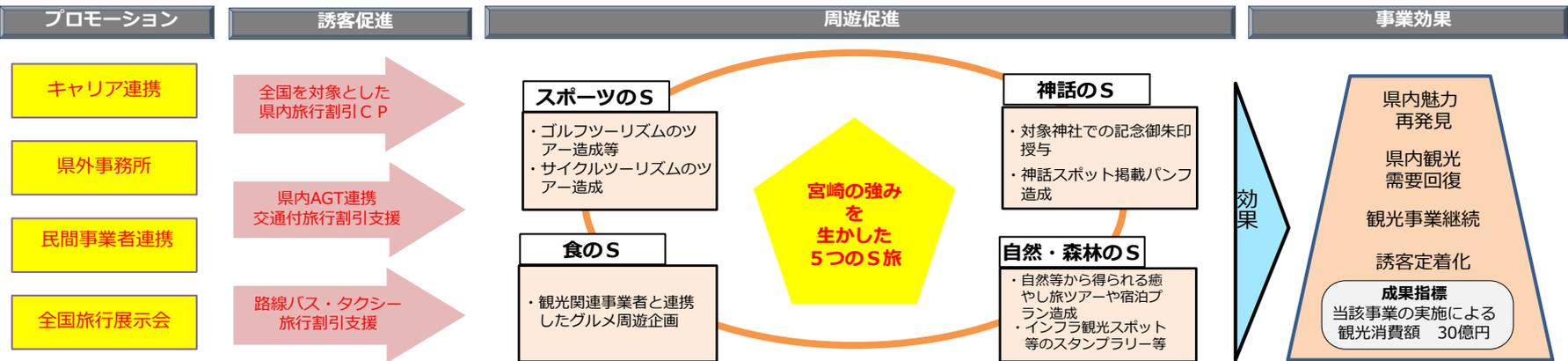
#### 2 誘客促進事業

- 全国対象の県内旅行割引キャンペーン
- 県内旅行会社への交通付旅行割引支援
- 路線バス割引チケット割引支援
- タクシー回数券等割引原資・PR支援

#### 3 観光事業者等との連携プロモーション

- 交通機関と連携したプロモーション
- 県外事務所による首都圏プロモーション
- 民間事業者と連携したプロモーション
- 観光関連イベントによるプロモーション

### <イメージ>



## 事業の期間

令和5年度

# 改 みやざきインバウンド誘客回復・強化事業

観光推進課 96,350千円  
【財源:一般財源】

## 事業の目的

重点市場を中心とした誘客を行うとともに官民一体となった新たなテーマ型観光での誘客に取り組み、インバウンドの誘客強化を図る。

## 事業の概要

### (1) 事業の仕組み



### (2) 事業内容

- ① 現地セールスプロモーション  
海外事務所を活用した現地での情報発信強化、商談会出展等
- ② 重点市場からの誘客回復促進  
現地旅行会社が造成する宮崎空港・隣県空港を活用した旅行商品への支援
- ③ 新規コンテンツ造成・販売力強化  
アドベンチャーツーリズム商品化支援、セールス・フォローアップ支援
- ④ クルーズ誘致セールス強化  
セールスプロモーション、情報発信強化



### (3) 成果指標

- ・外国人延べ宿泊客数（令和7年）326千人
- ・国際クルーズ船寄港回数（令和7年）30件



## 事業の期間

令和5年度～令和7年度

# 改 スポーツキャンプ・合宿全県展開促進事業

観光推進課 スポーツランド推進室 78,375千円

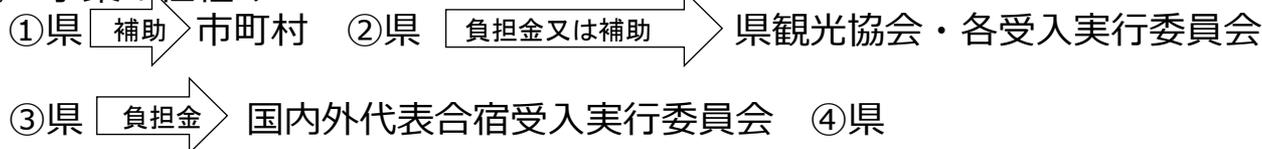
【財源：宮崎再生基金(65,990千円)、一般財源(10,385千円)、国庫(2,000千円)】

## 事業の目的

スポーツキャンプ・合宿の全県化を目的に取り組むことで、新たなキャンプ・合宿誘致やそれに伴う県外からの誘客数の増加を図り、経済効果を県内全域に波及させる。

## 事業の概要

### (1) 事業の仕組み



### (2) 事業内容

- ① 市町村受入施設等の環境整備への支援（補助率 1 / 2 又は 1 / 3）
- ② スポーツキャンプ等受入広域化支援
  - ・大規模スポーツイベントや大会等の開催・誘致に対して支援を行う。
- ③ 国内外代表合宿の受入支援
  - ・「国内外代表合宿受入実行委員会」に対して、代表合宿受入に必要な経費の一部を負担する。
- ④ 屋外型トレーニングセンターなどへの誘致セールス等

### (3) 成果指標

県外からのキャンプ・合宿延べ参加者数（128,578人（令和3年度）→225,000人（令和7年度））

## 事業の期間

令和5年度～令和7年度